

コード	302021301
記入日	H24.6.8

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	村中 佳夫

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域福祉活動補助事業
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	1
事務事業コード	3020213	事務事業名称	地域福祉活動補助事業費	細目コード	1036
関連計画	地域福祉活動事業補助金	法令・条例規則等	新上五島町地域福祉活動事業補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 社会福祉法人おかげのマリア会		(対象指標1) 1団体					
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	・仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが集う場として福祉増進を図る。 ①つどいの広場事業 ②生きがい活動事業 ③あずかり保育事業	*****	*****	*****	事業実施件数÷ 事業計画件数	*****	
		事業実施件数	3件	100%		平成23年度	
		① (達成率分析)	当初計画していた3事業について全て実施した。				
*****	*****	*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	*****	
		補助金交付件数	1件	100%		平成23年度	
		② (達成率分析)	1件の申請があり内容を審査し、申請どおり交付した。				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
*****	・仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが集う場として「青空ふれあいの広場」を開設し、その中で「つどいの広場事業」を中心に「生きがい活動事業」及び「あずかり保育事業」も併せて実施し、地域の児童福祉及び高齢者福祉の増進に努める。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	利用登録者数÷ 利用申請者数	*****	
		① (達成率分析)	利用登録者数	38人	100%		平成23年度
		② (達成率分析)	保育所が無い仲知、津和崎地区において、地域住民のニーズに対応し、あずかり保育を実施している。				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	15	15	12	3	3					
	② 件	5	5	4	1	1					
成果指標	① 人	203	203	165	38	38					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	28,832	28,832	23,242	5,590	5,590					
直接事業費 A	千円	28,832	28,832	23,242	5,590	5,590					
人件費 B	千円										
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	28,832	28,832	23,242	5,590	5,590					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	青空へき地保育所の廃園により行う事業であるため必要がある。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	地域の活性化が図られており、成果は上がっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理 由	地域で取り組み内容を充実させることで成果は向上する。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	地域の活性化が図られており、成果は上がっている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる 代えられない	理 由	少子化であずかり保育事業が出来なくなるので別の事業を考える必要がある。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	子どもがいなくなった場合、あずかり保育が出来なくなるので福祉長寿課の高齢者むけの事業に切り替える必要がある。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	乳幼児と高齢者の憩いの場として機能しており、今後も地域の乳幼児・高齢者の福祉増進に努めること。また、少子化によりあずかり保育事業ができなくなる場合に備えて高齢者対策への事業の転換等、関係課と協議・検討すること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の 対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合
	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。